

# 鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2024年9月9日

2024年8月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総合計は315.1億円と、前年同月比で20.6%の増となった。直近では3月以来の300億円越えとなったが、フォーミングと油圧プレス等の大型受注が大きく押し上げた結果であった。一方で、比較的、直近の経済環境に反応しやすい板金機械において、国内・輸出ともにマイナス傾向が続いており、下期の回復が危ぶまれる状況といえる。
- 機種別 プレス系機械が183.7億円と67.1%の増となった。フォーミング7.7倍、油圧プレス3.9倍、小型プレス27.2%増、大型プレス0.9%増であったが、中型・超大型プレスはマイナスであった。板金系機械も61.7億円と22.9%の減となった。パンチングは3.5%増であったが、レーザ・プラズマ48.5%減、ブレーキ16.6%減であった。サービス系も69.7億円と2.4%の減であった。
- 内外別 国内は156.4億円と36.9%の増となった。その他で9.6倍と大幅増、金属60.7%増、一般6.5%増であったが、鉄鋼41.0%減、輸送59.4%減、電気37.8%減であった。(機種計) 輸出は89.0億円と17.7%の増であった。内向3.0倍、中南米向12.9倍、北米向8.4%増で、中国向が10.1%減、韓国向51.5%減、東南アジア向54.8%減、欧州向27.4%減となった

## 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査 推移グラフ



